

ミリカ2023年9月14日(木)掲載

子育ての悩みに寄り添う絵本

子育てと絵本 vol.26

子どもたちのワクワクドキドキ「冒険心」。冒険には、リスクをコントロールしながら見守る大人の存在が必要です。そして、子どもたちの“心の安全”を守ることも、安心して冒険できることにつながります。

絵本「ちいさなねこ」。おや、ちいさなねこがにわにおりたー。お母さんねこがない間に部屋を抜け出して外の世界へ。ちょっぴりこわかったけど、お母さんねこに助けられてひと安心。人間の子どもも、安心できる場所があるからこそ新しい世界へと冒険し、戻ってきては安心感をもらい、さらに冒険を繰り返しながら成長します。

「おしいれのぼうけん」。さくらほいくえんには、こわいものがふたつありますー。初版から50年。絵本作家の田畑精一氏は、古田足日氏から「おしいれのぼうけん」の原稿をもらった時とても感動し、生き生きとした

遊び その9 「冒険遊び」

子どもの絵を描きたいと思いついたのが、息子の保育園へ入園すること。保育士は園児たちに、このおじさんを園に入れていいか意見を求めます。素敵ですね。結局翌朝のぎっくり腰で1日だけの入園にはなつたけれど、その後も保育園には幾度となく通いました。そして、保育園の生き生きとしたその空気を描くには、いい画材ではなく画用紙に安物の鉛筆で描こうと考え、力強くやさしいこの画風が仕上がりました。鉛筆画に子どもたちの生き生きとした躍動感があふれています。おしいれでどんな冒険が待っているのでしょうか。大人も子どもと一緒に、ストーリーと絵を存分に楽しんでください。絵本を楽しむ子どもの表情も見てください。

子どもは好奇心旺盛です。新鮮でワクワクドキドキする心の状態が、生き生きとした成長にもつながります。

子どもたちが自ら選んだ絵本、長く読み継がれて

いるロングセラー絵本には、子どもも大人も心を揺さぶられるものが多くあります。子どもとの絵本タイム、大切に育てたいひとときです。

今回ご紹介する絵本



ちいさなねこ
作 石井 桃子
絵 横内 襄
福音館書店



おしいれのぼうけん
作 ふるたたるひ
絵 たばたせいいち
童心社

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。絵本講師(NPO法人「絵本で子育て」センター認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター